

# 自治体国際協力専門家派遣事業

～広がる自治体の国際協力活動～

(財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課

## 事業概要

わが国の自治体関係者（退職者を含む）には、専門的な技術や豊富な知識を有する方が多数おられます。こうした方々を専門家として海外の自治体等からの要請に基づいて派遣し、現地における技術力の向上や人材の育成に寄与します。いわば“人づくり”を通じて国際協力活動を推進する事業です。

先進的な活用事例としては、自治体独自の事業、あるいは当協会他事業を活用しての複合的、継続的な実施により、海外自治体と締結した友好交流関係をより実質的な関係へと深化させるといった例が見られ、派遣元自治体にとっても効果的な成果を上げています。

## 事業内容

- ①派遣者：自治体職員（退職者を含む）
- ②派遣先：中国、東南アジア
- ③派遣期間：おおむね10日から1カ月程度
- ④派遣経費：原則、当協会と派遣先（海外自治体等）とで負担  
 専門家を派遣する国内自治体には特段の負担は必要ありません。

## 派遣実績

平成10年度の事業開始から平成21年度までに計94名の専門家を派遣しました。

平成22年度は中国・タイ・ブルネイ・インドへ11名の専門家を派遣し、農業、畜産業、医療、商業等の分野で成果を上げています。

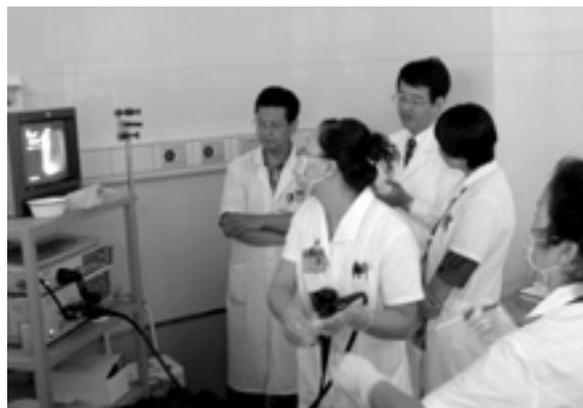
## 平成22年度の派遣事例

### ●中国寧夏回族自治区銀川市における医療技術向上支援

派遣専門家：河野 通盛（島根県松江市）  
 指導分野：医療

松江市は、銀川市と2004年に友好都市提携をしています。それ以前より海外技術研修員受入事業や当協会の自治体職員協力交流事業（以下、LGOTP）を活用して、銀川市の医師を松江市立病院に定期的に受け入れ、専門の各診療科で実地研修指導を行っていました。

そうした状況において、2007年のLGOTPで受け入れた研修生が、松江市立病院の技術力の高さを銀川市で広報したことが発端となって、専門家の派遣へと繋がりました。



実技指導の様子

今回の派遣は、銀川市の消化器疾病の診察技術向上、消化内視鏡の技術向上を目的としたもので、「B型・C型慢性肝炎治療」と「早期胃がんの内視鏡治療」についての講演を含めた講義、

実技指導が行われました。

このように、松江市では、独自の交流事業や当協会の他の事業との組み合わせにより、厚みのある国際協力事業が展開されています。

## ●ブルネイ・ダルサラーム国における 地域特産品開発支援

ブルネイにおいては、諸産業の振興による天然資源依存体質からの脱却を図るため、国家ビジョンとして「ビジョンブルネイ2035」を打ち出し、「Satu Kampung Satu Produk（一集落一産品プロジェクト）」を導入し、地域の活性化と地域資源活用による産品開発を進めています。

今回の専門家派遣は、特産開発プロジェクトの対象品目である農水産加工品、手工芸品等の技術レベルの向上と産業化への道筋を探る目的でワークショップとして実施され、日本の地域特産品の紹介とともに、現地を視察し、地元産品の生産技術の指導、助言やマーケティング方法についての講義等が行われました。

なお、当派遣においては、指導の内容が国営テレビで放映、新聞で連日報じられるなど、現地メディアに大きく取り上げられ、ブルネイでの関心の高さが窺えました。

派遣専門家：朝来 壮一（大分県）

指導分野：農業・商業・その他

ブルネイは、石油、天然ガスなどの資源が豊富なため、シンガポールや日本と同じような生活水準にあります。貿易では日本との関係も少なくありません。そのブルネイでこれだけの注目を集めたということは、ASEAN諸国での日本の自治体の存在の示し方の一つのヒントになるのではないのでしょうか。



工芸品の視察

## おわりに

今回ご紹介した事例はほんの一部ですが、指導を受けた海外自治体からは、感謝の念とともに、今後の継続した支援を希望されるケースが跡を絶ちません。

当協会としては、本事業をより効果的なものへとステップアップさせるため、これまで専門家任せになりがちであったアフターフォローについて、本部と海外事務所との間で連携を図りながら

フォローアップに着手するとともに、冒頭に紹介したような他事業との複合的、継続的な実施についてのコーディネート役に努めていくことなどで、今後も自治体の皆さんのニーズに呼応するものへと事業の改善を図りながら、自治体の国際協力事業を積極的に支援してまいりたいと考えています。

自治体国際協力専門家派遣事業についての詳細は、こちら  
URL : <http://www.clair.or.jp/j/sien/special.html>